

2023

2023.07 – 2024.06

環境活動レポート



株式会社 神奈川環境クリエイト

2024年10月30日

《目 次》

1. 組織の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	1 頁～2 頁
2. 対象範囲・・・・・・・・・・・・・・・・	2 頁
3. 環境方針・・・・・・・・・・・・・・・・	3 頁
4. 環境目標及びその実績・・・・・・・・	4 頁
5. 環境活動計画・・・・・・・・・・・・・・・・	5～6 頁
6. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容・・・	7 頁
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無・・・・・・・・	8 頁
8. 代表者による全体評価と見直しの結果・・・・・・・・	9 頁

1. 組織の概要

- 1) 名称及び代表者名 株式会社 神奈川環境クリエイト
代表取締役 浦瀬 浩一
- 2) 所在地
本社・工場 神奈川県平塚市大神四丁目20番20号
- 3) 環境責任者氏名及び担当者連絡先
環境責任者 岩田 きくの
TEL : 0463-55-3880
E-Mail : kanakuri2002@mx2.alpha-web.ne.jp
URL : <https://www.kanagawa-kc.jp>
- 4) 事業活動内容
産業廃棄物の処理業（中間処分）
- 5) 事業の規模

	2021年	2022年	2023年
売上高（百万円）	97 百万円	125 百万円	121 百万円
処理能力（m ³ /日）	19 m ³	19 m ³	19 m ³
従業員数（人）	4 人	4 人	4 人
床面積（m ² ）	297 m ²	297 m ²	297 m ²
敷地面積（m ² ）	869 m ²	869 m ²	869 m ²

- 6) 事業年度 7月～6月

7) 情報公表項目

- (1) 法人設立年月日 : 昭和57年3月
(2) 資本金 : 9000万円
(3) 許可の内容 :

許可地区、許可番号、許可区分、廃棄物の種類、(許可年月日、許可の有効年月日)

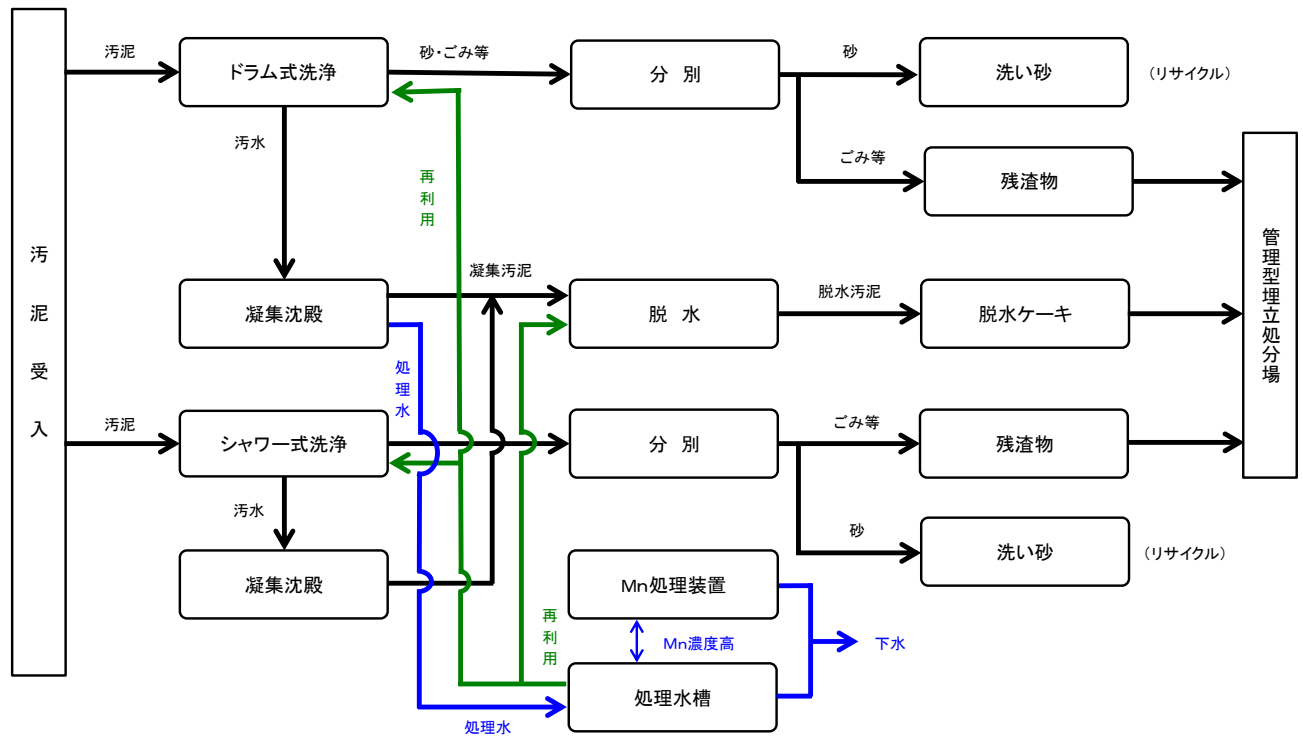
許可地区	許可区分	許可番号
	産業廃棄物の種類	許可年月日 許可の有効年月日
神奈川県	産業廃棄物処分業	01423027426
	汚泥	令和2年2月1日
		令和7年1月31日

(4) 施設状況 :

処分業 : 処理施設の種類の、処理する産業廃棄物の種類の、処理能力(規模)、処理方式、処理工程図

中間処分作業車両	台数	中間処分施設	台数	処理能力
・ショベルローダー車	1台	・洗浄施設(ドラム式)	1台	15m ³ /日 (6時間)
・トロンメルユンボ車	1台	・洗浄施設(シャワー式)	2台	40m ³ /10日 (20m ³ /10日×2系列)
・営業車	1台	・脱水施設	1台	8m ³ /日 (8時間)

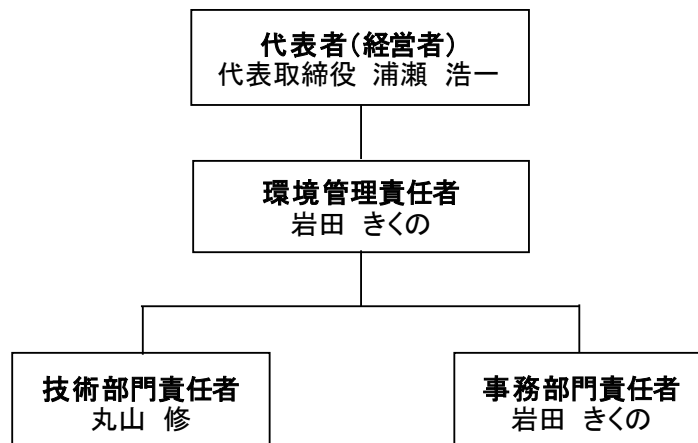
処理工程図



(5) 処理実績：環境への負荷の自己チェック、別表②受託した産業廃棄物の処理量

事業年度	種類	中間処分量 (t)	収集運搬量 (t)
2021年度	汚泥	2,950	ナシ
2022年度	汚泥	3,513	ナシ
2023年度	汚泥	3,279	ナシ

(6) 組織図：



2. 対象範囲（認証・登録の範囲）、レポートの対象期間及び発行日

全組織、全活動を認証・登録範囲とする。

- 1) 対象組織 「1. 2」所在地」欄に記載
- 2) 活動 「1. 4」事業活動内容」欄に記載
- 3) レポートの対象期間及び発行日
レポートの対象期間及び発行日は表紙に記載

3. 環境方針

環 境 方 針

<基本理念>

株式会社神奈川環境クリエイトは、産業廃棄物処理業を営む企業として、当社の企業活動が環境に与える影響を強く認識し、環境保全の改善・向上を目指し、達成すべき環境目的および環境目標を定め、次の方針に基づき、環境マネジメントシステムの構築を図ります。

<行動方針>

1. 事業活動に伴う二酸化炭素排出量の削減に努めます。
2. 水使用量の削減に努めます。
3. 事務所から生じる一般廃棄物の削減に努めます。
4. 環境にやさしいグリーン購入の推進に努めます。
5. 産業廃棄物の適正処理により、環境への負荷を低減するとともに、
すべてのステークホルダーの信頼向上に努めます。
6. 環境関連の法規等を遵守します。
7. 環境への取り組みを環境活動レポートとしてとりまとめ公表します。

2020年 7月 1日

株式会社 神奈川環境クリエイト

代表取締役 浦瀬 浩一

4. 環境目標及び環境目標の実績

2023年7月～2024年6月

No.	環境目標項目		基準値	CO2 換算係数	2023年度	活動期間(2023/7～2024/6)		2024年度	2025年度
			(2019年度)		目標	実績	達成度	目標	目標
1	二酸化炭素 排出量の削減	電力使用量の削減 (事務所)	電力使用量	0.408	基準値に対し 3 %削減	7,868 kWh/年以下	86.34% ×	基準値に対し 3 %削減	基準値に対し 4 %削減
			7,003 kWh/年		6,793 kWh/年以下			6,793 kWh/年以下	6,723 kWh/年以下
		電力使用量の削減 (工場)	電力使用量	0.408	基準値に対し 4 %削減	6,104 kWh/年以下	105.44% ○	基準値に対し 5 %削減	基準値に対し 6 %削減
			6,704 kWh/年		6,436 kWh/年以下			6,369 kWh/年以下	6,302 kWh/年以下
		重機・車両等の燃料 消費量削減	LPG <m ³ >	3.000	基準値に対し 4 %削減	6.5 m ³ /年以下	106.34% ○	基準値に対し 5 %削減	基準値に対し 6 %削減
			7.2 m ³ /年		6.9 m ³ /年以下			6.8 m ³ /年以下	6.8 m ³ /年以下
			ガソリン <L>	2.320	基準値に対し 4 %削減	898 L/年以下	100.03% ○	基準値に対し 5 %削減	基準値に対し 6 %削減
			936 L/年		899 L/年以下			889 L/年以下	880 L/年以下
			軽油 <L>	2.580	基準値に対し 3 %削減	2,750 L/年以下	120.03% ○	基準値に対し 4 %削減	基準値に対し 5 %削減
			3,403 L/年		3,301 L/年以下			3,233 L/年以下	3,199 L/年以下
		計(kg-CO ₂)	灯油 <L>	2.510	基準値に対し 3 %削減	84.0 L/年以下	133.95% ○	基準値に対し 4 %削減	基準値に対し 5 %削減
			116 L/年		113 L/年以下			110 L/年以下	109 L/年以下
				16,856 kg-CO ₂		16,301 kg-CO ₂ /年以下	15,109 kg-CO ₂ /年以下	107.89% ○	16,071 kg-CO ₂ /年以下
2	廃棄物 排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	年間一般廃棄物排出量		基準値に対し 5 %削減	43.1 kg/年以下	184.49% ○	基準値に対し 7 %削減	基準値に対し 9 %削減
			83.7 kg/年		79.5 kg/年以下			77.8 kg/年以下	76.2 kg/年以下
		産業廃棄物排出量の削減 最終処分(埋立処分)量の割合の削減	年間産業廃棄物排出量		基準値に対し 2 %削減	13.40 %以下	75.7% ×	基準値に対し 2 %削減	基準値に対し 3 %削減
			439.49/3278.98 =13.40%		10.14 %以下			10.14 %以下	10.04 %以下
3	水使用量の削減 <水道使用量: m ³ >		年間水道使用量		基準値に対し 2 %削減	297 m ³ /年以下	91.40% ×	基準値に対し 2 %削減	基準値に対し 3 %削減
		277 m ³ /年		271 m ³ /年以下	271 m ³ /年以下			269 m ³ /年以下	
4	グリーン購入の推進 <エコ品購入品目数>		年間エコ商品購入品目数		基準値に対し 2 %向上	63.0 %以上	92.60% ×	基準値に対し 2 %向上	基準値に対し 3 %向上
		75/119 =63.0%		68.0 %以上	68.0 %以上			68.7 %以上	
5	産業廃棄物処理業での環境配慮 (年度毎重点取組の決定・実行)		クレーム件数			0 件/年以下	100.00% ○		
		0 件/年		0件 件/年以下	0件 件/年以下			0件 件/年以下	

*：電力使用量の二酸化炭素排出係数は、2023年度東京電力の排出係数0.408(kg-CO₂/kWh)を用いた。

*：P R T R法対象化学物質の使用はありません。

5. 環境活動計画

2023年7月～2024年6月

No.	環境目標項目	基準値	目標値	CO ₂ 排出 換算係数	取組内容	推進 責任者	担当者	実績評価項目	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	期間計						
1	二酸化 炭素 排出量の削減	1)電力使用量の削減 (事務所)	電力使用量 7,003 <kWh>	基準値の 3 %削減 6,793 <kWh以下>	0.408	①不使用照明の消灯 ②空調の適温化(冷房26、暖房22度) ③OA機器のセーブモード設定	岩田	岩田	電力 kWh	活動予定	①～③ 実施																
										達成評価																	
										目標値	430	591	445	378	469	734	900	792	691	598	328	443	6,793				
										実績値	430	1,020	1,466	1,544	2,312	3,047	3,947	4,738	5,429	6,022	6,350	6,793	6,793				
		実績累計	794	741	868	409	563	807	879	916	788	511	369	430	7,868												
		達成評価	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×											
		1)電力使用量の削減 (工場)	電力使用量 6,704 <kWh>	基準値の 4 %削減 6,436 <kWh以下>	0.408	①不使用照明の消灯 ②設備の点検 ③不使用設備の電源オフ	岩田	丸山	電力 kWh	活動予定	①～③ 実施																
										達成評価																	
										目標値	397	293	370	355	394	866	738	618	767	446	680	512	6,436				
										実績値	397	690	1,060	1,415	1,809	2,675	3,413	4,031	4,798	5,244	5,924	6,436	6,436				
		実績累計	334	365	739	603	590	578	384	636	612	510	415	388	6,104												
		達成評価	334	699	1,438	2,041	2,631	3,209	3,593	4,229	4,841	5,351	5,766	6,104	6,104												
	2)重機車両等の燃料消費量の削減	化石燃料消費量 LPG <㎡> ガソリン <L> 軽油 <L> 灯油 <L> 116	基準値の 4 %削減 4 %削減 3 %削減 3 %削減 LPG <㎡> 7.2 ガソリン <L> 899 軽油 <L> 3,301 灯油 <L> 113	LPG ガソリン 軽油 灯油 3,000 2,320 2,580 2,510	①省エネ運転の実行 ②車両・重機の点検整備	岩田	浦瀬 浅井	化石 燃料	活動予定	①～② 実施																	
									達成評価																		
									目標値	0.3	0.2	0.2	0.2	0.6	0.8	0.9	1.1	0.9	0.9	0.7	0.4	6.9					
									実績値	0.2	0.3	0.2	0.3	0.4	0.8	0.9	0.8	0.8	0.6	0.4	6.5						
									ガソリン ㎡	90	31	30	39	29	118	60	89	91	92	60	60	899					
									実績値	97	33	37	53	56	84	84	84	85	59	56	898						
									軽油 L	281	321	210	238	432	421	0	569	972	0	230	266	3,301					
									実績値	123	141	273	271	239	259	258	285	187	262	277	155	2,580					
									灯油 L	0	0	0	0	39	19	0	37	17	0	0	0	113					
									実績値	0	0	0	0	0	48	18	18	0	0	0	84						
	合計 L(ガソリン換算 値)	目標値	473	440	390	353	552	609	61	763	413	93	382	358	4,887												
	実績値	473	912	1,302	1,655	2,208	2,877	3,641	4,054	4,147	4,529	4,887	4,887														
	実績累計	252	304	520	385	344	373	424	421	311	377	367	229	4,309													
達成評価	252	557	1,077	1,462	1,806	2,179	2,603	3,024	3,355	3,712	4,079	4,309	4,309														
計	CO ₂ 排出量 16,856 <kg-CO ₂ >	CO ₂ 排出量 16,301 <kg-CO ₂ 以下>	〔数値目標/実績〕	CO ₂ 排出 kg	目標値	1,272	1,261	1,086	1,119	1,633	2,065	810	2,346	1,553	640	1,297	1,220	16,302									
					実績値	1,272	2,533	3,619	4,738	6,371	8,435	9,246	11,592	13,145	13,785	15,082	16,302	16,302									
					実績累計	909	1,008	1,480	1,306	1,269	1,429	1,499	1,610	1,292	1,292	1,169	845	15,110									
達成評価	909	1,918	3,898	4,704	5,973	7,403	8,902	10,511	11,803	13,095	14,265	15,110	15,110														
2	廃棄物 排出量の削減	1)一般廃棄物 排出量の削減	一般廃棄物 総排出量 83.7 <kg以下>	基準値の 5 %削減 79.5 <kg以下>	①分別徹底 ②裏紙使用で紙使用量の削減 ③IT化により紙使用量の削減 ④一般廃棄物の排出量を収集 ⑤古紙再資源化により搬出量を削減	岩田	浅井	一般 廃棄物 排出量 kg	活動予定	①～⑤ 実施																	
									達成評価																		
									目標値	6.6	6.6	6.6	6.6	6.6	6.6	6.6	6.6	6.6	6.6	6.6	6.6	79.5					
									実績値	6.6	13.3	19.9	26.5	39.1	39.8	46.4	53.0	59.6	66.3	72.9	79.5	79.5					
									実績累計	8.8	1.3	2.6	2.4	2.1	7.4	2.1	4.3	3.6	3.4	2.4	2.7	43.1					
		達成評価	8.8	10.1	12.7	15.1	17.2	24.6	26.7	31.0	34.6	36.0	40.4	43.1	43.1												
		2)産業廃棄物 排出量の削減 (最終処分量の割合の削減)	産業廃棄物 総排出量 10.35 <%>	基準値の 2 %削減 10.14 <%以下>	①搬入物を投入受槽やトロンメルコンボにて徹底分別	岩田	丸山	産業 廃棄物 排出量 %	活動予定	① 実施																	
									達成評価																		
									目標値	5.72	16.00	14.28	11.63	14.88	10.04	10.56	5.40	8.99	10.87	8.32	12.59	9.94					
									実績値	5.72	9.93	11.16	11.37	12.30	11.71	11.45	9.96	9.93	9.87	9.74	9.94	9.94					
	実績累計								3.62	5.25	6.95	9.20	14.41	15.59	29.55	17.65	25.20	21.15	6.99	25.48	13.07						
	達成評価	3.62	4.27	5.50	6.59	8.49	9.79	11.05	11.84	13.24	13.99	12.78	13.40	13.40													

[illegible]

6. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

No.	環境目標項目		取組内容	取 組	
				結果・評価	次年度の内容
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減 (事務所)	①不使用照明の消灯 ②空調の適温化(冷房26、暖房22度) ③OA機器をセーブモード設定	前年度の目標達成率が99.97%と比較的高かったため今年度の目標は1%加算と設定したが、目標達成率を大きく下回る結果となってしまった。 前期同様徹底した取組みを継続する。	継続して取り組む。 目標値は現状の3%とする
		電力使用量の削減 (工場)	①不使用照明の消灯 ②設備の点検 ③不使用設備の電源オフ	前期同様徹底した取組みをしているため目標を達成することができた。 引き続き徹底した取組を継続する	継続して取り組む。 目標値は1%加算の5%とする。
		重機・車両等の燃料消費量削減	①省エネ運転の実行 ②車両・重機の点検整備 ③削減目標を個別に設定 LPG・灯油:各2%、ガソリン:2%、軽油:2%	前期同様個別に目標値を設定することで、正しく評価することができた。	継続して取り組む。 目標値=LPG:5%、灯油:4%、ガソリン:5%、軽油:4%
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	①分別徹底 ②裏紙使用で紙使用量の削減 ③IT化により紙使用量の削減 ④一般廃棄物の搬出量を収集 ⑤古紙再資源化により搬出量を削減	前期同様徹底した取組みをしているため目標を達成することができた。	継続して取り組む。 目標値は2%加算の7%とする。
		産業廃棄物廃棄物の削減 最終処分(埋立処分)量の割合の削減	①搬入物を投入受槽やトロンメルコンボにて徹底分別 ②洗砂の再資源化PR	前期同様徹底した取組みをしていたが、基準値の時に比べて受け入れた汚泥に固形分が多かったため目標を達成することはできなかった。	継続して取り組む。 目標値は2%とする。
3	水使用量の削減		①節水、散水は必要最小限化 ②処理工程で使用する水の再利用 ③バルブの調整により水量と水圧を調節 ④水道配管の定期点検	前期同様徹底した取組みをしていたが、2023年12月構内施設の漏水が発覚したため正しく計測することができなかった。	継続して取り組む。 目標値は現状の2%とする。
4	グリーン購入の推進		①購入時に環境配慮商品か否か確認 ②環境配慮商品のリストアップ ③対象商品を購入 ④事務用品以外も環境配慮商品か否か確認	前期に引き続き実施しているが、グリーン商品へ移行することが出来ない商品があるため目標を達成することができなかった。 引き続き購入商品の見直しを行う。	継続して取り組む。 目標値は現状の2%とする。
5	産業廃棄物処理業での環境配慮 (年度毎重点取組の決定・実行)		①クレーム件数の収集 ②HPを環境レポートにてPR	クレーム件数0件を達成。 HPにて環境レポートにURLを表示。	継続して取り組む。

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

並びに違反、訴訟等の有無

当社に係る環境関連法規等は下記の通りですが、下記のように遵守状況を2023年6月に確認した結果、違反はありませんでした。また、関連機関からの違反等の指摘、環境関連の訴訟も過去3年間ありません。なお、外部からの苦情は活動期間中にはありませんでした。

環境関連法規等遵守状況

区分	環境関連法規等名称	遵守評価結果
廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法) (一般廃棄物の適正処理)	○
	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法) (産業廃棄物の適正処理)	○
	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法) (産業廃棄物の処理業：処分業)	○
	平塚市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例	○
資源循環 (リサイクル)	特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法)	○
	使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律 (小型家電リサイクル法)	○
	使用済自動車の再資源化等に関する法律 (自動車リサイクル法)	○
化学物質	毒物及び劇物取締法	○
水質汚濁	水質汚濁防止法	○
大気汚染	自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法 (自動車NOx・PM法)	○
	フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 (フロン排出抑制法)	

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

見直し実施日	2024年 10月30日 (☐ 定期見直し ☒ 臨時見直し)		
見直し対象期間	2023年 7月 1日 ~ 2024年 6月30日		
見直しに必要な情報	①環境関連法規の遵守状況(環境関連法規等取りまとめ表兼遵守確認評価表による) ②環境目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況、その評価結果(環境活動計画兼実績書による) ③問題点の是正処置及び予防処置の結果(是正／予防処置報告書による) ④外部からの環境に関する苦情等の受付結果(外部コミュニケーション記録による) ⑤その他(法規制の動向や取引先からの「グリーン調達」の情報等)		
代表者による評価 経営的観点	【環境経営システムが有効に機能しているか】 (①、③、④、⑤等を踏まえて評価) 前期同様全社員が各自の役割を理解して活動しているが、目標達成できた項目は少なかった。なお、法規制の順守状況には問題なく、外部からの苦情の発生もないため、環境経営システムは現在のところ有効に機能している。		
	【環境への取組が適切に実施されているか】 (②等を踏まえて評価)		
	目標項目	目標達成状況	活動計画実施状況
	二酸化炭素排出量の削減	☐	☐
	一般廃棄物排出量の削減	☐	☐
	産業廃棄物排出量の削減 (最終処分量の割合削減)	☒	☐
	水使用量の削減	☒	☐
	グリーン購入の推進	☒	☐
	産業廃棄物処理業での 環境配慮 (クレーム件数の収集)	☐	☐
代表者による 見直し 変更の必要性 の有無・変更に 必要な具体的 指示事項	【環境方針】 変更の必要性 : ☐ 有 ☒ 無 当社の事業活動に見合ったものである。		
	【環境目標及び環境活動計画】 変更の必要性 : ☐ 有 ☒ 無 取組みについては最大限努力しているため、今期は経過観察とする。		
	【環境経営システム等】 変更の必要性 : ☐ 有 ☒ 無 環境経営システムは現在のところ有効に機能している。		
	【総括】 (環境活動レポートに転記) 全社員が活動を通じて、環境問題への意識が向上していると思われる。 今後も目標達成するべく最大限努力する。		

以上